

入所・地域生活支援専門部会 報告資料

本年度開催 第1回 平成27年 7月23日

第2回 平成27年12月16日

平成27年度入所・地域生活支援専門部会活動概要

1 主な審議事項

(1) 第五次千葉県障害者計画の進捗管理について

計画は、年度ごとの「取組の方向性」の進捗状況及び「数値目標」の達成状況等について推進本部会で評価・検討を行い、千葉県障害者施策推進協議会に報告することとしているが、これらの進捗管理方法について協議した。

(2) 地域生活支援拠点について

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受け入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築するもの。

第五次千葉県障害者計画では、数値目標で29年度までに16箇所を整備することとしており、取組の現状を説明、協議を行った。

(3) 障害者グループホームの指定について

県の基準条例中には、グループホームの設置場所については次の要件がある。

①グループホームは住宅地又は住宅地と同程度に家族や地域住民との交流の機会が確保される地域にあること。

②入所施設、通所施設、病院の敷地の外に設置しなければならないこと。

具体的には、グループホームの立地の要件として、以下の3要件をいずれも満たすことを確認し、県の指定を行っている。

①周辺に民家等があること。

②市道（公道）等により、共同生活住居と日中活動の施設が空間的に分断されていること。

③原則、共同生活住居の利用者が、当該日中活動の施設に通所することのないこと。

昨今、障害の重い方、身体障害のある方のためのグループホームを設置する際に、グループホームのそばに日中活動の場を設置した方が、利用者の支援によりよい場合があるとの声もあるため、この方針の見直しの必要性や方向性に

について、協議した。

2 主な報告事項

(1) 障害者総合支援法施行3年後の見直しについて

平成25年4月に施行された障害者総合支援法の附則では、施行後3年を目途として障害福祉サービスの在り方等について検討を加え、その結果に基づいて所要の措置を講ずることとされている。

社会保障審議会障害者部会では、平成27年4月から本格的に検討を開始し、今後の取組について本報告書として取りまとめた。

今後、本報告書に基づき、関係法律の改正や平成30年度に予定されている障害福祉サービスの次期報酬改定等に向けて、具体的な改正内容について検討を進め、財源を確保しつつその実現を図るべきである、とされた。

専門部会では、基本的な考え方と10の論点のうち「1 常時介護を要する障害者等に対する支援について」を中心に報告を行った。